

## 2 おしゃべりカード

～その時あなたは、どうする？どう思う？～

### 話の素材(学習資料)

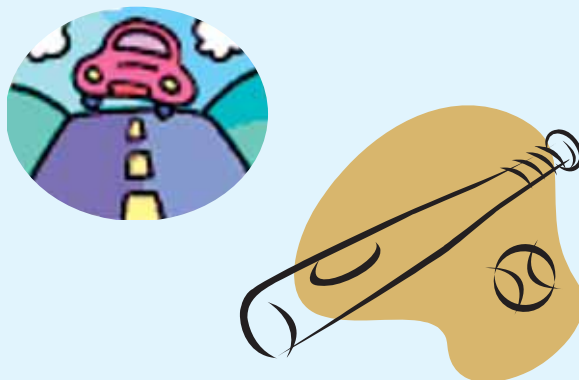
#### どうする？ その1

あなたのお子さんが、ピアスをしたいと相談してきました。  
あなたは、どうする？どう思う？



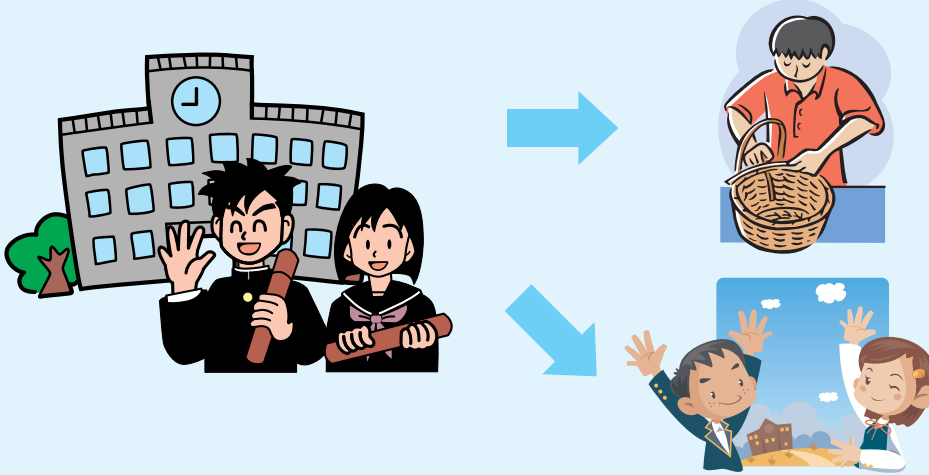
#### どうする？ その2

あなたのお子さんが、スポーツ少年団に入りたいと言っています。スポーツ少年団に入るには保護者の送り迎えが必要ですが、あなたは仕事で送り迎えができません。そんなときあなたならどうする？どう思う？



### どうする？ その3

あなたの子どもが、中学を卒業したら職人の道をめざすために高校は行かないと言っています。あなたは、どうする？どう思う？



### どうする？ その4

高校の入学祝いに携帯電話を買いました。本人に責任を持たせるためにも、フィルター設定をせずに契約しました。しかし子どもが心配となり、携帯電話を見てしまいました。あなたは、どうする？どう思う？



#### フィルター設定

フィルター設定とは、携帯電話やパソコンから一定のサイトにアクセスできなくさせることで、携帯電話契約時などに行うこともできる。(フィルタリングサービス、又は、「有害サイトアクセス制限サービス」と呼ばれる。) 未成年や18歳未満の子どもが危険なサイトにアクセスしないよう遮断することが主な目的である。



## 学習のポイント

私たちが日常生活でごく当たり前のこと、常識と思っているなかにも様々な人権問題が潜んでいます。これらの出来事のなかには偏見や差別につながると思われる事柄が存在していることもあります。それら話し合うことでその背景である**人権問題が起こる原因に気づき**、解決の糸口を得て行動へとつなげていくことをねらいとしています。ここで学んだことはその場だけにとどめるのではなく、暮らしに活かしていくことが大切です。大人の会話は、子どもの人権感覚を育てる上で大きな影響を及ぼすこともあります。

それぞれのカードの事例をもとに話し合うことで、無関心となっていないか、知らないまま見過ごしていないか、また**親だからといって子どもの人権を無視していないか、人権に関わる対応が必要な場合、親としてどう対応すべきか**考えてみましょう。



## すすめ方【90分】

### 準備物 話の素材をカードにしたもの

1. 4～6人のグループをつくります。
2. ねらいと進め方を説明します。
  - プラスαで自己紹介（お題は「このごろおいしかったもの」）
3. 「話の素材」おしゃべりカードをグループに配ります。
4. カードを裏返してバラバラに机の中央に並べます。
5. グループで話し合いをします。
  - (1) ジャンケンで最初の司会者と記録者を決め最初のカードを選び話し合います。  
（例えば…勝った人が最初の司会・負けた人が最初の記録）
  - (2) その後、2回目のカードを選び話し合います。もう一度ジャンケンをして司会者・記録者を決めます。

時間によっては2枚程度で話し合ってもいいよ。資料3の素材でもOK



### 話し合いのポイント

- ① カードに書かれてある事柄について自分はどう思うか意見を出し合います。記録者は、出された意見をメモしておきます。
  - ② 2回目のカードを話し終わったら全部のカードをひらいてみます。誰のどんな人権が侵害されているでしょうか？また人権問題が起こる原因はどんなことだと思いますか？
6. 話し合ったカードをもう一度裏返して1枚だけ選びます。そのカードについて出された意見を記録した人が発表します。
  7. 最後にファシリテーターが出てきた意見や学習のポイントなどをおりませながら、感想を言って終わります。



## 資料

### 資料1 グループでの話し合いについて

大切にしてほしいことは、賛成でも反対でもまずは相手の話を聞いてみることです。皆さんの考えを大切にしながら話し合っていきましょう。

- ①賛成の方（手をあげてもらおう） 反対の方（手をあげてもらおう）
- ②どうして賛成ですか？ 賛成の理由を聞いてみる
- ③どうして反対ですか？ 反対の理由を聞いてみる

…もし話がでてこなかったときの参考までに・・・これが答えではありません。

#### どうする？ その1

##### ● 賛成の方の考えの例

- ①ピアスするかどうかは個人の自由で、自由を尊重したい。
- ②ピアスはおしゃれだからいいのではないか。
- ③ピアスがあることでへんな目で見るのはその見方がおかしい。

##### ● 反対の方の考えの例

- ①体を傷つける必要はない。
- ②世の中にピアスをするのを肯定的に捉えていない（偏見がある）人がいる。

#### どうする？ その3

##### ● 賛成の方の考えの例

- ①子どもが早くから夢をもつことはいいのではないか。
- ②親の人生ではない、子どもの人生は子どもの自由に生きていくことができる。

##### ● 反対の方の考えの例

- ①途中で諦めたときに子どもが困る。
- ②学歴がないために、給料や昇進に影響がある。仕事がなくなったときに子どもが不幸になるのではないか。

#### どうする？ その2

##### ● 賛成の方の考えの例

- ①子どものやる気を大切にしているいい機会なので、どうにか実現すべき。
- ②保護者同士の連携で送り迎えもできるのではないか。

##### ● 反対の方の考えの例

- ①家庭の状況があるから仕方ない。
- ②いずれできるときがくるので、我慢も必要。

#### どうする？ その4

##### ● 賛成の方の考えの例

- ①子どものことを知りたいし心配だから見てもよい。
- ②事件などに巻き込まれないか、子どもの命を守るためだからよい。

##### ● 反対の方の考えの例

- ①子どものことを信じていない。
- ②人権侵害につながる。子どものプライバシーが守られていない。





**資料2** 子どもの権利条約について（参考）

## 子どもの権利条約のあらまし

我が国が平成6（1994）年に批准した児童の権利に関する条約（子ども権利条約）では、子どもにかかわる全てのことは、子どもにとってもっともよいことは何かを考えて行われなければならないと定められています。

また、子どもの持つ権利が約40条あげられていますが、それらは以下の4つに大きく分けられます。

### 生きる権利

- 防ぐことのできる病気などで命を奪われないこと。
- 病気やけがをしたら治療を受けられること。



など。

### 育つ権利

- 教育を受け、休んだり遊んだりできること。
- 考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができること。



など。

## 子どもの権利

### 守られる権利

- あらゆる種類の虐待や子どもの幸せを奪って利益を得るようなことから守られること。
- 障がいのある子どもや少数民族の子どもなどは特別に守られること。



など。

### 参加する権利

- 自由に意見を表したりすることができ、子どもの発達に応じてその意見が考慮されること。
- 集まってグループを作ったり自由な活動をしたりできること。



など。

### 資料3 話の素材 (学習資料)

#### どうする? その5

あなたのお子さんが、タトゥーを入れたいと相談してきました。  
あなたは、どうする? どう思う?



#### どうする? その6

あなたのお子さんの友だちがゲームをするために家に来ています。  
あまりにも遅い時間までいるのですが、あなたは、どうする? どう思う?

